

アクティブ・ラーニングと 高大接続システム改革会議

目的

本研修会では、主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）の促進を含めた「教育改革」、および、平成28年3月31日付で公表された「高大接続システム改革会議『最終報告』」について、特に、高等学校と大学が個々に取り組むべき課題、および、高等学校と大学の連携によって解決すべき課題などについて議論し、その理解を深めることを目的とする。

内容

本研修会では、まず、本学情報工学部で取り組んでいるアクティブ・ラーニングの方法や効果について、実習を交えて紹介する。次に、ベネッセによる「高大接続システム改革会議『最終報告』」についての解説を交えた講演を行い、最後に、その講演を踏まえた上で、大学の教育改革・入試改革・高大接続改革についてのディスカッションを行う。

日時 **6月24日 金**
14:00~17:00

場所 **九州工業大学
サテライト福岡天神
in 天神イムズ 11F**

スケジュール	定員 20名
14:00~14:05	開 会
14:05~14:30	講 演
14:30~15:00	講演・実習
15:00~15:10	休 憩
15:10~15:50	講 演
15:50~16:00	休 憩
16:00~16:50	ディスカッション
16:50~17:00	閉 会

講 演

14:05~14:30

九州工業大学情報工学部におけるアクティブ・ラーニング(1)

講師：西野 和典 教授（教養教育院長）

本講演では、アクティブ・ラーニングの意味や意義、一般的な授業方法や評価方法、期待される効果、本学のアクティブ・ラーニングの全般的な紹介、今後、高校教育で求められるようになることや、福岡県立高校「新たな学びプロジェクト」について紹介する。

講演・実習

14:30~15:00

九州工業大学情報工学部におけるアクティブ・ラーニング(2)

講師：近藤 秀樹 助教（学習教育センター）

アクティブ・ラーニングの代表的な手法の一つである、知識構成型ジグソー法(※東京大学 CoREFの開発した手法)について紹介する。具体的な実践手法について解説し、実際に用いられている授業計画に基づいてジグソー法の体験を行う。

講 演

15:10~15:50

高大接続システム改革会議「最終報告」における高等学校と大学の課題(1)

講師：原 茂 氏（（株）進研アド Between編集長）

本講演では、高大接続システム改革会議「最終報告」について、その内容や目的などについて解説すると共に、今後、高等学校や大学で取り組むべき課題についての情報提供を行う。

ディスカッション

16:00~16:50

高大接続システム改革会議「最終報告」に向けた高等学校と大学の課題(2)

進行：平田 耕一 教授（知能情報工学研究系）

これまでの講演を踏まえた上で、高大接続システム改革会議「最終報告」における高等学校と大学が取り組むべき課題、特に、入試改革と教育改革などについて議論し、その理解を深める。

●申込締切／平成28年 6月20日（月） 17:00（なお、定員20名になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。）

■企画・お問い合わせ 九州工業大学 情報工学部 連携教育推進室 TEL0948-29-7529

■お申し込み 裏面の申込用紙に該当事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX0948-29-7517

■備考 今回の企画が好評であれば、10月にも同様の企画を実施する予定です。



高校教員対象研修会

「教育改革・入試改革・高大接続改革に向けた取り組み」

申込用紙

九州工業大学大学院情報工学研究院宛

受付FAX番号 **0948-29-7517**

申込締切／平成28年6月20日(月)17:00

下記、該当事項を記入の上、上記FAXにてお申し込みください。

高校名
連絡先電話番号
FAX

参加教員情報

- (ふりがな)
1 氏名 _____
- (ふりがな)
2 氏名 _____
- (ふりがな)
3 氏名 _____
- (ふりがな)
4 氏名 _____
- (ふりがな)
5 氏名 _____

■お問い合わせ 九州工業大学情報工学部連携教育推進室 TEL0948-29-7529



国立大学法人 九州工業大学